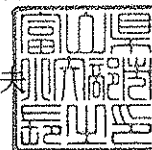




国土交通省道路局長 殿

小建第91号
平成19年5月1日

小矢部市長 桜井森夫



中期計画作成にあたっての意見の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から本市の市勢発展並びに行政施策の推進につきまして格別のご理解とご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、中期計画作成に当たっては、下記の項目についてご配慮頂きますようお願い申し上げます。

記

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地域の活性化にとって企業誘致は最も有効な政策の一つですが、地方においては産業基盤が未だに脆弱な状況にあります。したがって、空港や重要港湾と連携した高速交通体系をはじめとした広域道路ネットワークの整備は急務であります。

また、道路特定財源の受益者負担という制度は、都市に比べ地方では市民1人当たりの負担が極めて大きい状況を作り出しています。このようなことを踏まえ、地方に対し、より重点的な予算配分がなされることを要望いたします。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

個別の事業についてスケジュール管理を徹底し、事業着手から完成までのスピードアップを図ることが重要であると考えます。

(3) その他（道路政策や道路の整備・管理全般に関すること）

本市は、豪雪地帯特有の厳しい自然条件下にあり、冬期間の交通の確保は、極めて重要な課題であります。降雪地帯に住む者にとって雪は、日常生活や社会経済活動に大きな障害となっており、雪のない地域に比べ、都市基盤の整備や産業経済活動において大きな格差が生じています。このことが、利便性や快適性あるいは働く場所を求める若年層の都市への流出の一因ともなっています。雪に強い都市づくりに向け雪寒地域道路事業への重点的な予算配分がなされることを要望いたします。